

平成28年度 南牧小学校学校評価システムの羅針盤

評価対象	評価項目	具体的数値目標	今年度の方策
I 学校・保護者・地域の連携について	1 学校や児童の様子を保護者に伝え、理解を得ていますか。	①「学校や児童の生活の様子がわかる」と答える保護者が90%以上である。	*学校だより、学年だより、ふれあいテレビ、ウェブサイトで学校の方針や様子を効果的に伝えていきます。
	2 保護者が学校を理解したり、協力したりしやすい環境をつくっていますか。	②授業参観後の懇談会に出席している保護者が90%以上である。	*学校公開日・日曜参観を設定したり、参加しやすいPTA活動を行っていきます。また、職員はいつでも悩みや意見を相談しやすい対応を心がけていきます。
II 豊かな心について(やさしく)	3 気持ちのよい返事やあいさつをする児童が育っていますか。	③気持ちのよい返事やあいさつができる児童が90%以上である。	*全体指導や日常的な学級指導、道徳の時間の充実を通して継続的な指導をしていきます。
	4 いじめのない学校づくりのために取り組んでいますか。	④いじめの発生予防に努め、いじめの解消率が100%である。	*小さい出来事も見逃さないように、日常の観察をしっかりと行い、毅然とした態度で指導を行います。
III 確かな学力について(かしこく)	5 授業は、わかる授業となっていますか。	⑤「授業がわかる」と答える児童が90%以上である。	*小規模校の利点を生かして一人一人の学習状況を把握し、きめ細かな授業を行っていきます。
	6 家庭で学習をする習慣が児童に身に付いていますか。	⑥家庭で自分で決めた学習(含宿題)や読書などをしっかり行える児童が90%以上である。	*懇談会や学年だよりで家庭学習の仕方・例示を紹介を行い、学習習慣を身に付けさせていきます。 *「家庭学習の手引き」を活用し、家庭での自主学習の内容の充実を図っていきます。
IV 健やかな体について(たくましく)	7 児童の健康を考えた適切な取組を行っていますか。	⑦自分自身の体の動きの特性を知り、体づくりに励む児童が80%以上である。	*学校保健委員会を通して、全校で体づくりに取り組んでいきます。 *体育部と連携し、体力テストの結果等を活用しながら、継続して実践できる支援をしていきます。
	8 児童の体力の向上を考えた取組を行っていますか。	⑧休み時間や放課後に外遊びができる児童が95%以上である。	*業間休みを長めに設定し、運動や遊び環境の工夫、体育や体育的活動と連携させた指導を生かした取組を行います。
V 安全確保・施設設備について(安全な学校)	9 学校の安全対策はとられていますか。	⑨避難、救護などを想定したシミュレーションを定期的に行い、危機対応の見直しを図っている。	*不審者・火災・地震等に対する対応訓練を計画的に行います。 *危険回避能力を身に付ける指導を計画的に実施していきます。
	10 登下校時の安全対策が取られていますか。	⑩安全に注意して歩いたりバスの中で安全に過ごしたりできる児童が100%である。	*通学路の安全点検を定期的実施します。 *バスの安全な乗り方について指導していきます。 *その都度危険情報を示して指導を行います。
VI 自己理解・生き方について	11 自分のよさに気づき、夢や希望を持った児童が育っていますか。	⑪自分のよさや好きなこと、自分の可能性を伸ばすことについて、学校や家庭で話したり考えたりしている児童が90%以上である。	*学級や縦割り班の活動を通して、集団の中で自分らしさを発揮できる機会をつくります。 *当番活動や様々な係活動を通して、自己の役割を理解し積極的に行動できる力を伸ばします。 *自分たちで計画を立て、責任をもって取り組む場面をつくります。 *様々な生き方や仕事に接したり考えたりできるような機会をつくります。
VII 組織運営	12 学校の教育目標の達成に向け、管理職・教職員が一体となって努力していますか。	⑫職員の100%が学校教育目標の基本目標、具体目標を意識して活動している。	*小規模校児童の課題を踏まえつつ、学校教育目標を学級経営に生かし、地域や児童のよさを生かした取り組みを行います。
	13 日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合える職場の人間関係を作っていますか。	⑬職員の90%が気軽に悩みを相談しあえると考えている。	*問題を一人で抱え込むことがないように、チームとしての意識を持って取り組みます。 *学年経営会議等で定期的に情報交換や交流の場を設けます。